

健保クイズ2 ≪医療と健康保険の問題≫

健康保険組合連合会

「みんなで解こう！医療と健康保険の問題」より抜粋

日本は、誰でもいつでも医療が受けられるように医療保険制度が整えられています。被保険者等が出し合った保険料から医療費を支払うことで、患者は窓口で医療費の一部を負担するだけで受診することができます。

健保だより

令和7年3月10日号

※ダイワボウ労働組合「組合新聞」第1103号
(令和7年3月10日発行)に掲載の
「健保とあなた」と同じ内容です

問題 これについて、続く設問に答えなさい。

【1】医療費の自己負担割合は、年齢によって異なる。正しい組み合わせを選びなさい。

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|---------|
| ① 0-6歳…無料 | 70-74歳…2割 | 75歳以上…1割 | それ以外…3割 |
| ② 0-6歳…2割 | 70-74歳…2割 | 75歳以上…1割 | それ以外…3割 |
| ③ 0-6歳…無料 | 70-74歳…3割 | 75歳以上…2割 | それ以外…4割 |
| ④ 0-6歳…2割 | 70-74歳…3割 | 75歳以上…2割 | それ以外…4割 |

【2】日本では、子どもの医療費が無料になることがある。この「無料」はどのように実現されているか、正しい答えを1つ選びなさい。

- ① 国が全額負担している
- ② 病院が費用を請求しない仕組みになっている
- ③ 自治体が自己負担を肩代わりしている
- ④ 子どもが成人してから請求されることになっている

【1】回答 ② 0-6歳…2割 70-74歳…2割 75歳以上…1割 それ以外…3割
自己負担の割合は正解の通り、年齢によって違います(一定の所得がある高齢者は2~3割負担)
これまでの年齢による負担という考えから、負担能力のある方は負担すべきという考えに基づき、
高齢者の自己負担については一部見直しも行われてきました
【2】回答 ③ 自治体が自己負担分を肩代わりしている
●子どもの医療費は「無料」ではなく、実際には費用が発生しています。自己負担分を自治体が肩代わりし、
残りは健保組合から保険料により支払われています。無料だからと余分に薬をもらったり、不安だからと
多めに検査を受けたりするのは控えましょう。

【 回答と解説 】

【健保ホームページのご案内】

身体や心の相談ができる「ダイワボウ健康相談室」もご覧いただけます。
スマートフォンからも見やすくなっておりますので、ぜひご活用ください。

健保HP スマホ用QRコード

